CHUBU UNIVERSITY

前画面へ戻る

科目名	ファイナンス論
科目名(英訳)	Finance Theory
科目ナンバー	BS338F03
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	藤井 辰朗
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:BS
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	企業の投資・資金調達・配当政策など企業財務に関する実践的な理論を学習する科目である。ファイナンス入門を学修後に履修するのが望ましい。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:◎ ②:○
身につく基礎力 ／ 身につく汎用力	課題設定力 クリティカル思考力 ／ 豊かな教養 専門的知識・技能 思考力

授業の主旨 (概要)	本講義ではファイナンスにおける基礎的な内容の復習に始まり、それらを発展させた応用理論の理解を目指す。企業の経営者は企業価値を最大化するために資金調達を行い、その資金を使って投資を行い利益を得る。そしてその利益は株主や債権者に還元されるが、この一連のサイクルが上手く機能するとその企業の株価も上昇することになる。企業価値の最大化とは、ファイナンスにおいて一義的に株価の最大化といい換えることもできる。 これら企業価値最大化へ向けた政策と、その概念の理解を本講義では目指している。
具体的 達成目標	ファイナンスにおける理論を理解し、企業価値を高める意思決定を説明できる。 現実の企業の財務政策の問題点を説明できる。

1	【内容】	第1回 イントロダクション
	【授業外学習】	本講義の主旨を配布資料をもとに理解し、教科書を使ってこれからの学習に必要な知識を予習する。
2	【内容】	第2回 将来価値・現在価値
	【授業外学習】	単利や複利の基本概念を配布資料と教科書をもとに復習し、将来価値や現在価値の計算ができるようにする。
3	【内容】	第3回 資本コストの概念
	【授業外学習】	資本コストの概念を配布資料と教科書をもとに復習する。
4	【内容】	第4回 ファイナンスに関する伝統的理論
	【授業外学習】	ファイナンスに関する伝統的理論を配布資料と教科書をもとに復習する。
5	【内容】	第5回 資本構成に関する理論
	【授業外学習】	最適資本構成など資本構成に関する理論を配布資料と教科書をもとに復習する。
6	【内容】	第6回 資本調達
	【授業外学習】	企業の資本調達を、配布資料と教科書をもとに復習する。

授業計画

7	【内容】	第7回 投資決定
	【授業外学習】	企業の投資決定を配布資料と教科書をもとに復習する。
8	【内容】	第8回 ペイアウト政策
	【授業外学習】	企業のペイアウト政策を配布資料と教科書をもとに復習する。
9	【内容】	第9回 企業価値と株価
	【授業外学習】	企業価値と株価の関連について配布資料と教科書をもとに復習する。
10	【内容】	第10回 ポートフォリオ理論
	【授業外学習】	ポートフォリオ理論を配布資料と教科書をもとに復習する。
11	【内容】	第11回 財務指標の理解
	【授業外学習】	ROEやPER、PBR、EBIT、EBITDA等様々な財務指標を、配布資料と教科書をもとに復習する。
12	【内容】	第12回 日本企業の資本構成と投資決定
	【授業外学習】	日本企業の資本構成と投資決定を配布資料と教科書をもとに復習する。
13	【内容】	第13回 日本企業の財務戦略の検討
	【授業外学習】	日本企業の財務戦略を配布資料と教科書をもとに復習する。
14	【内容】	第14回 行動ファイナンス
	【授業外学習】	行動ファイナンスの概念を配布資料と教科書をもとに復習する。
15	【内容】	第15回 総括
	【授業外学習】	これまでの授業の内容を各自、自宅・大学等にて復習し、知識の定着を目指す。

授業方法

授業は講義及び演習方式で行う。通常はパワーポイント等を使用し、授業毎に資料を配布する。
またファイナンスを理解するための簡単なグループワークも行う予定である。
小テストに関しては採点ののち返却予定である。

成績の評価方法

授業の態度、小テスト及びレポート。まとめの試験。

成績の評価基準

まとめの試験60%、小テスト20%、その他20%。
60点以上で合格とする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
1.	『コーポレート・ファイナンス論』	小椋康宏編著	学文社	3000円	9784762025075

参考文献

備考

授業の資料は適時配布する。また参考資料に関しては適宜指示する。

関連ホームページ

メールアドレス

藤井 辰朗 fujii15@fsc.chubu.ac.jp

オフィスアワー

前画面へ戻る

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011